

消防ヒヤリハットデータベース事例情報シート

【事例概要について】

.....

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	防火水槽の蓋と受枠との間にて、指を詰めた事例
3. 体験した事例の中心的要素	蓋の開放は器具を用いて行うもので、決して手などで開けない。
4. 体験した事例の原因・理由	本来、蓋の開放は器具を使用するものであるが、活動中 手を使ったことが原因である。

【体験した事例の直接的原因について】

.....

1. 体験した事例の直接的な原因	
------------------	--

【体験した事例について】

.....

1. 発生日時	平成 20 年 7 月 15 日	午前 11 時頃
2. 発生した当時の天候	晴	
3. 発生した活動現場	屋外：公園内	
4. 体験した事例の種類	回答者が、自分自身で負傷した。	
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷	
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）		
7. 事例体験時の活動	その他： []	
8. （7の活動中） どのような作業中に発生したか	その他：警防活動訓練	
9. 同様の体験は、これまでにどの 程度の頻度で体験していますか。		

10. 事例体験者の属性（回答者は当事者A）

○当事者 A	年齢[46]歳、 勤続年数[26]年、 現場経験年数[23] 年、 階級[消防士長]、 同様の活動 [頻繁]、 任務 [機関員]
○当事者 B	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
○当事者 C	年齢[]歳、 勤続年数[]年、 現場経験年数[]年、 階級[]、 同様の活動 []、 任務 []
その他 (当事者が 4 人以上の場合)	

11. 事例発生経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過 1	Aが	防火水槽の蓋を開けようと見たら	
経過 2	Aが	取っ手に砂が溜まっており、動かなかった。	
経過 3	Bが	袋式バール穴に開閉キーを差ししたところ、指が入る分だけ開放された。	
経過 4	Aが	指を入れ、蓋の開放を行った。	
経過 5	Aが	開閉キーがすべり、蓋が落下し負傷した。	
経過 6			
経過 7			
経過 8			
経過 9			
経過 10			

【その事例発生時の状況について】

[illegible]

○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

集中力、注意力がなかった。その他：器具以外（手）を使用し、開放を試みたため。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならぬという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった（寒かった）。	はい
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	いいえ
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：早く訓練を実施しようと思ったばかりに、手を使って蓋を開けた。

【事故発生後の取り組みについて】

.....

○注意力欠如、焦り等の対策について

普段のコミュニケーション、さらに訓練を通じて基本操作を再認識し、危機意識の高揚に努めています。

○装備・資機材の対策について

各種資機材を活用し、最も効率よく、かつ安全に活動できるよう努めています。

○活動環境の対策について

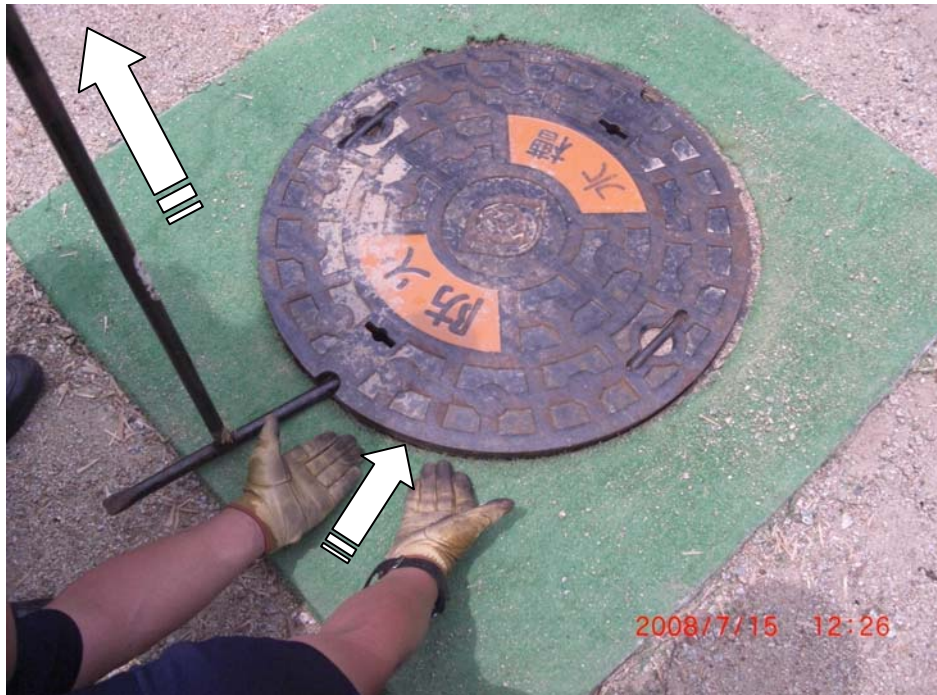
訓練要員の増員。

○指揮・情報伝達の対策について

訓練参加者全員が声掛け等で意思疎通する。

事故発生状況

① キーで蓋を持ち上げ



② 手で開けようと、差し入れたところ…



③ 差し込んでいたキーが滑り抜けて。



④ 約2cmの高さから指の上に落下、負傷した。

